



アジア地域研究科 2018 年度国際会議



カンボジアの政治状況と日本の関わり

2018 年 10 月 8 日 (月) 13:15~17:00

大東文化大学東松山校舎管理棟 3 階大会議

カンボジアではフン・セン首相率いる人民党に権力が集中し、野党の解散、メディアや NGO への統制などが国際社会で問題視されています。このようなカンボジアに対し、日本は開発援助や法整備支援などを行ってききましたが、その意義や有効性が問われています。日本在住カンボジア人の間でも、母国の状況に対する懸念が高まり、日本側からのさまざまな働きかけがなされています。和平プロセス後のカンボジアの状況と日本との関係を振り返り、2018 年総選挙の結果から今後の課題を提起します。

12:30 開場

13:15 開会挨拶

13:20~13:30 趣旨説明・登壇者紹介

13:30~14:05 講演(1) 「母国の公正な民主化に対する在日カンボジア人の思いと願い」
チューブ・サラーン

14:05~14:40 講演(2) 「取り残されるカンボジア農村の人々と乳幼児」 米倉雪子

14:40~15:15 講演(3) 「カンボジア政治状況と日本 (NGO・政府) の関わり」 熊岡路矢

15:15~15:25 休憩

15:25~16:10 コメント・質問

東 佳史 (立命館大学教授) 福家洋介 (大東文化大学准教授) 須田敏彦 (大東文化大学教授)

16:10~16:55 自由討論

16:55~17:00 閉会式

【講演者略歴】

チューブ・サラーン

タイ難民キャンプ生まれ。インドシナ難民として来日。日本大学大学院博士課程満期退学。2001 年に外国につながる青少年当事者グループ「すたんどばいみー」を設立。2016 年 NPO 法人「外国人支援ネットワークすたんどばいみー」理事・事務局長に就任。2018 年現在代表理事。都留文科大学非常勤講師。

米倉雪子

1999 年英国サセックス大学開発研究所 (IDS) 博士号取得。1999~2001 年 Oxfam international 駐日事務所勤務。2001~2008 年日本国際ボランティアセンター (JVC) カンボジア事務所代表。2003 年、2008 年のカンボジア総選挙監視に日本政府選挙監視団の一員として参加。2009 年より昭和女子大学准教授。NGO メコンウォッチ、Seed-to-Table 理事。

熊岡路矢

1980 年タイで難民救援活動に参加、JVC 創設。1982 年カンボジアのタケオ州で井戸掘り給水活動開始。1985~1988 年 JVC カンボジア代表。給水活動、技術学校開設、孤児院支援などに携わる。1993 年、カンボジア市民フォーラム創設、『カンボジア最前線』(岩波新書) 出版。2006 年まで JVC 代表理事。1998 年以降、COMFREL (選挙監視 NGO) とともに選挙監視活動に参加。本年 2018 年 7 月の総選挙を現地でモニターした。日本映画大学教員。

